

令和2年度、令和3年度不登校児童生徒学習支援事業協働実施に関する検証

1 協働事業の内容

(1) 事業の目的

不登校児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的自立を目指すことができるよう、つくば市と事業者が相互に協力、補完することで学習機会や居場所づくりの支援を行うとともに、不登校児童生徒の学習支援に対する知見を深める。

(2) 事業期間

令和2年(2020年)10月1日～令和4年(2022年)3月31日

(3) 事業実施場所

つくば市産業振興センター内(つくば市吾妻二丁目5番地1)

(4) 事業の対象

つくば市に居住する小学生・中学生

(5) 事業利用者数

令和4年3月時点 37名(定員は概ね15名だが、曜日によりコースを2つに分けて実施したため、定員よりも多くの児童生徒を受け入れた。)

(6) 事業内容

- ・個に応じた様々な学習機会の提供
- ・オンラインによる支援等、新たな支援方法の構築
- ・心理的な居場所づくり

2 検証の内容

(1) 検証の目的

公共施設を使用して民間事業者が運営する(公設民営)不登校児童生徒の学習の場や居場所支援事業の有効性について検証する。

(2) 検証方法

- ① 利用者アンケートの実施
- ② 保護者アンケートの実施
- ③ 事業者及びつくば市の自己評価
- ④ 利用者在籍校の意見聴取
- ⑤ ①～④を取りまとめて事業の有効性を検証

(3) 検証期間

令和4年5月から令和4年9月まで

(案)

令和2年度、令和3年度不登校児童生徒学習支援事業協働実施
に関する検証報告書(骨子)

1 協働事業の概要

- (1) 取組の背景と目的
- (2) 事業名
- (3) 事業内容
 - ① 学習支援(個に応じた多様な学習機会の提供)
 - ② 新たな支援方法の構築(オンラインによる支援等、新たな支援方法の構築)
 - ③ 居場所の提供(心理的な居場所づくり)
- (4) 事業実施方法
- (5) 事業実施期間
- (6) 事業費用
- (7) 協働事業者

2 検証体制

- (1) 検証目的
- (2) 検証主体
- (3) 検証の取組

3 協働事業の検証

- (1) 事業に対する評価
 - ① 利用した児童生徒の評価
 - ② 児童生徒の保護者の評価
 - ③ 事業者(リヴォルヴ、市)の自己評価
 - ④ 利用者在籍校の意見
- (2) 事業の分析、検証及び効果
 - ① 分析、検証
 - ② 効果

4 まとめ

- (1) 協働事業から見えた課題
- (2) 公設の不登校児童生徒支援事業の展望